

### 市民の願いを込めた陳情が不採択に

2020年の11月議会では、市民の願いを込めた陳情が審議打ち切りで採択されない事例が相次ぎました。会派つなぐはいずれも採択を求めました。議員間の真摯な討議が求められています。

#### ●選択制夫婦別姓制度の早期実現を要請する意見書提出を求める陳情

研究職など改姓による不利益があることが結婚の障害になっている中で、夫婦が同じ姓を名乗るか別々の姓を名乗るかについて選択制にすることを国に求める陳情です。「国会の議論を見守る」などの理由で審議打ち切りになりました。

#### ●辺野古米軍基地建設に関する意見書提出を求める陳情

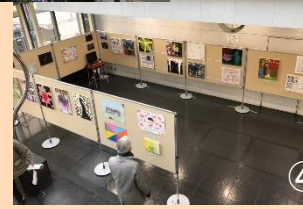
辺野古米軍基地建設について県民投票などで沖縄県の民意が反対の意思を示している中で、政府に沖縄県との誠実な対話を求める陳情です。「対話の促進は沖縄県が国に求めるべき」などの理由で審議打ち切りになりました。

#### ●神戸市議員に対する費用弁償廃止に関する陳情

神戸市議員に、高額報酬とともに交通費相当の費用弁償が1日ごとに3000円～5000円支給されているのはおかしいので廃止を求めるといふ陳情です。「過去の判決で交通費以外にも必要な経費として認められた」などの理由で不採択になりました。

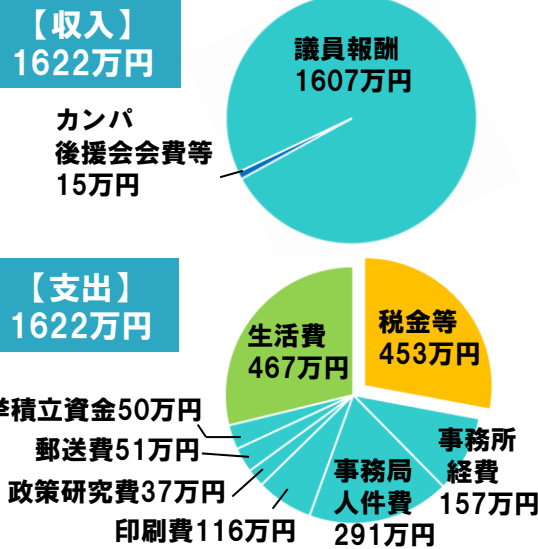
### 活動日誌 (2020年10月～2020年12月・抄)

- 10/03 「まちと公園」トークイベント(塩屋まちづくり推進会主催)に参加
- 10/13 神戸市精神障害者家族連合会役員会に参加
- 10/23 吉川商店大石工場(洗ピン会社)を「会派つなぐ」で見学(写真①)
- 10/25 神戸市政カフェ(企業主導型保育園の課題)
- 10/28 9月決算議会閉会
- 11/01 柏台南公園地域清掃に参加(写真②)
- 11/06 多井畑西地区保全市民ネットワークミーティングに参加
- 11/07 中央市民病院内コロナ専門病棟内覧会に参加
- 11/14 生活困窮者自立支援全国研究交流大会にリモート参加
- 11/17 六甲アイランド沖埋め立て処分場を「会派つなぐ」で見学
- 11/22 つなぐ神戸市議員団街頭市政報告会(神戸マルイ前)(写真③)
- 11/26 脱原発市民団体の企画調整局エネルギー課申し入れに同席
- 11/27 11月議会開会(12月8日まで)
- 11/28 神戸市政カフェ(新型コロナ対策)
- 12/07 兵庫土建労組垂水支部役員会に参加
- 12/17 須磨多聞線西須磨工区差し止め訴訟提訴行動に参加
- 12/22 神戸朝鮮高級学校美術作品展(垂水区役所1階ロビー)を鑑賞(写真④)
- 12/23 子どもの居場所づくりのネットワーク会議に参加
- 12/26 神戸市政カフェ(三宮再整備)
- 12/28 伊丹市雇用福祉事業団見学 全港湾山陽バス分会役員会に参加



### 高橋ひでのり 直近1年の会計報告 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(金額は概数)



高橋は公約に掲げた「議員報酬削減」を実質的に実行するため、報酬とは別に支払われる政務活動費(年間約456万円)を神戸市に全額返還し、議員報酬のみで議員活動をまかっています。

つなぐ神戸市議員団



高橋ひでのり

市民の

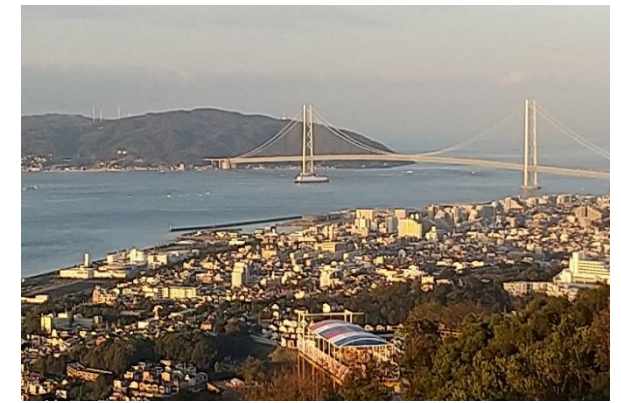


No.14

高橋ひでのりと  
市政を考える会  
ニュース  
2021年 新春号

去年は、新型コロナウイルスとのたたかいで、自治体の重要性を強く感じました。

2021年も市民のいのちとくらしを守るために  
しっかり取り組みます。  
皆でつながって、ともに生き抜きましょう。



↑ 旗振山からの垂水の町  
← 旗振山からの日の出  
(高橋撮影)

## 高橋が求める 新型コロナウイルス対策

### 緊急事態宣言に合わせて検査と補償を

政府が打ち出した経済活性化策「GOTOキャンペーン」は、人々に間違ったメッセージを与え、感染拡大につながりました。医療を守り安全な社会を作ることが、経済回復にとっても必要です。コロナ禍で打撃を受けた業界には、営業時間短縮に応じた飲食店や関連業界への協力金にとどまらず、収入減に見合った幅広い補償制度をつくらせましょう。

感染を収束させるには、感染する場所を減らし、感染者の動きを止めなければなりません。飲食業に絞った限定的な緊急事態宣言では、感染場所を減らすことはできても、感染者の動きを止めるには不十分です。大量の検査で感染者を見つける必要があります。

### 神戸市は社会的検査の拡大を

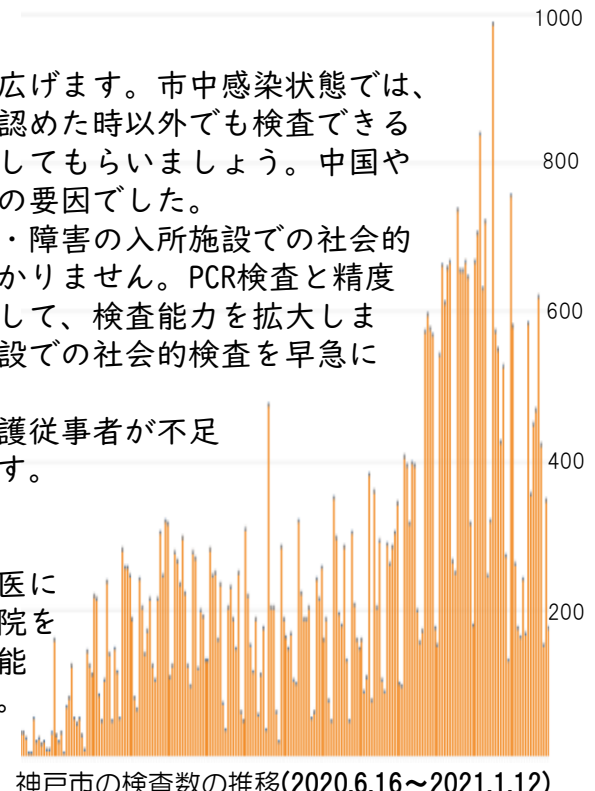
新型コロナはほかの感染症と異なり、無症状感染者が感染を広げます。市中感染状態では、保健所のクラスターつぶしでは追いつきません。医師が必要と認めた時以外でも検査できる「社会的検査」を大幅に拡大して、無症状感染者に行動を自粛してもらいましょう。中国や台湾など、感染を収束させた国では、大量の検査が収束の最大の要因でした。

高橋は神戸市当局に一貫して社会的検査の拡大を求め、高齢・障害の入所施設での社会的検査を実現しました。しかし神戸でも、感染拡大に歯止めがかかりません。PCR検査と精度がそれほど変わらず、コストが安い「抗原定量検査」を導入して、検査能力を拡大しましょう。通所・訪問施設も含めてすべての介護・福祉・保育施設での社会的検査を早急に実現しましょう。

介護現場では、コロナ感染を恐れた離職も増えています。介護従事者が不足する「介護崩壊」を防ぐためにも、社会的検査の拡大が必要です。

### 発熱外来の医療機関名の公表を

神戸市では、発熱などの症状が出た場合は、まずかかりつけ医に電話で問合せ、その医院が診察できない場合は、診察可能な医院を紹介するシステムになっています。しかし、このシステムが機能せず、診察可能な医院を紹介してくれない例が続出しています。これでは困ります。神戸市内で200以上ある「発熱外来」のリストを神戸市が公表して、診察を受けやすくしましょう。



### ポスター掲示先を募集します

政治活動ポスターを2種作成しました。家の壁、塀などへの掲示をさせていただける方は右記までご連絡ください。



### 【発行】高橋ひでのりと市政を考える会

〒655-0894 神戸市垂水区川原2-1-16 谷本ビル202  
TEL:070-7489-6715  
(市政相談電話:月～金 9時～19時)  
FAX:078-330-3562  
Mail:takahashi.tarumiku@gmail.com  
URL: https://www.shiminnokaze.com

